



宗岡みらい学園

宗岡第二小学校だより

令和8年 5月号
児童数 389名

学校教育目標

よく考える子 やさしい子 たくましい子



あいさつの声が響く学校・地域を子どもたちから

校長 赤沢 直幸



新年度がスタートして、早いもので一か月が過ぎました。校庭の木々もすっかり新緑に包まれ、子どもたちの学校生活も落ち着いてきたところです。新しい学年や学級の中で、子どもたちはそれぞれに頑張りながら、毎日を過ごしています。

登校の時間に正門で子どもたちを迎えながら、「おはようございます」とあいさつを交わしています。元気よくあいさつを返してくれる子、にこっと笑顔を見せてくれる子、少し恥ずかしそうに小さな声で言う子など、その姿は本当にさまざまです。昨年度との大きな違いは、先に声をかけてくれる子がとても増えたことです。その姿に朝から元気をもらっています。先日の全校朝会でもあいさつがよくできていることをたくさん褒めました。

あいさつは、人と人の心をつなぐ第一歩です

人は一人では生きていくことができません。人との関わりの中で、自分らしく生きていきます。その入口となるのが「あいさつ」です。あいさつは、単にことばを交わすだけでなく、気持ちを通わせる大切な行為です。

子どもたちの「おはよう」という一言には、さまざまな思いが込められていることでしょう。家族へは「今日も元気だよ」「ありがとう」、地域の皆様へは「見守ってくださいあってありがとうございます」、そして教職員へは「今日もよろしく願います」。そう考えると、「おはよう」は、心を届ける“魔法の言葉”に思えてきます。

さて、本校の1学期の生活目標は「あいさつと返事をしよう」です。元気にあいさつができている子は、そのよさを学校の外にも広げてほしいと思います。また、少し苦手だと感じている子は、あいさつができる場面を少しずつ増やしていきましょう。

気持ちのよい一日は、さわやかなあいさつから始まります

学校では今後も、あいさつの充実に努めてまいります。ご家庭や地域の皆様におかれましても、子どもたちが「あいさつのできる大人」へと成長できるよう、温かく声をかけていただければ幸いです。そして、あいさつができたときには、ぜひ大いにほめていただきますようお願いいたします。



1か月がんばったご褒美の大型連休（ゴールデンウィーク）に入りました。例年より少し長い休みになります。たくさんの経験や思い出ができることを願うとともに、規則正しい生活で、4月につくってきたリズムが崩れないようにしてほしいと思います。